



地域創生の現実と課題 今後の方向性とは

インターゼミ地域班2019

学部生：中島大地・西川貴洋
坂林伸哉・生田侑己

教員：加藤みずき・廣田敬則・西村知晃



本発表の構成

1. 日本の「地域創生」の現状
2. 各種地域活性化策の現状と課題
 - 進歩的活性化策について
 - 人間性回帰的活性化策について
3. 多摩地域高齢者の地域活性化策への考え
4. 結論、残された課題



日本の「地方創生」の現状

- ・「地方創生」とは

各地域がそれぞれの特徴を活かし、自律的かつ持続的で魅力ある社会を作り出すこと。

開始の経緯：工業化進展・サービス産業増加等により、地方での過疎化が進んだため。

- ・“第一次”地方創生の内容と結果

内容：①地方への**仕事創出** ②地方への新たな**人流づくり** etc..

課題：**人口減少**の進行・**東京一極集中**の継続

- ・“第二次”地方創生の内容と目標・現状

内容：①地方への**ひと・資金の流れを強化**

②新しい時代の流れを力にする etc..

目標：①従来の枠組を維持しつつ必要な強化

②新たな視点に重点をおいて施策を推進 etc..



研究課題 (Research Question)

1. 「地方創生」の名のもと、日本各地で行われている“個別”の地域活性化策は、
 - ①それぞれ、どのようなものが行われているのか？
 - ②それぞれ、どのような現状か？
 - ③どのような課題が残されているのか？

2. 多摩地域の高齢者（※本学『特別講座』参加者）は、
 - ①各地域活性化策に、どのような意見を持っているのか？
 - ②今後の地域活性化に、どのような考えを持っているのか？



進歩的地域活性化策

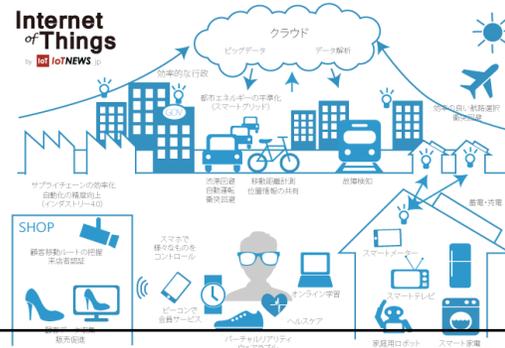
カテゴリー

具体的な活性化策

調査で判明した活性化の現状・課題

進歩的 地域活性化策

・ **スマートシティ (IOT)**
 科学技術を用いて、諸問題の解決や利便性・効率を上げた都市



・ **キャッシュレス化**
 現金以外の決済
 Ex: クレカ・App内決済



- 【現状】**
- ・今年10月に**政府**が統一的な組織を開設
 - ・まだ**実証段階**の街が多い
 - ・多くの企業も**チャンス獲得のために参入**し、多数の分野・事業横断プロジェクトが存在
- 【課題】**
- ・データ**監視社会への嫌悪感**の存在
 - ・高度な技術を要することから、その実現性への**懐疑的な意見**もある

- 【現状】**
- ・中小規模事業者でも**負担少なく導入可**
 - ・観光地で、現金に縛られず**買い物可→売上UP**
 - ・**インバウンド観光客**が利用しやすい
 - ・売上、金銭記録のデジタル化で**店の負担軽減**
- 【課題】**
- ・サービスへの**信頼度が低い**
 - ・既存の決済手段 (IC・クレカ) に不足ない為、**新たな導入の必要性を感じない**人もいる



人間性回帰的地域活性化策

カテゴリー

具体的な活性化

調査で判明した活性化の現状と課題

人間性回帰的 地域活性化策

昔から特に地方部にあった
住民間の人間味溢れるつき
あい、相補的・互恵的關係
が失われていくことに対
し、これを回帰的に取り戻
していこうとする活性化

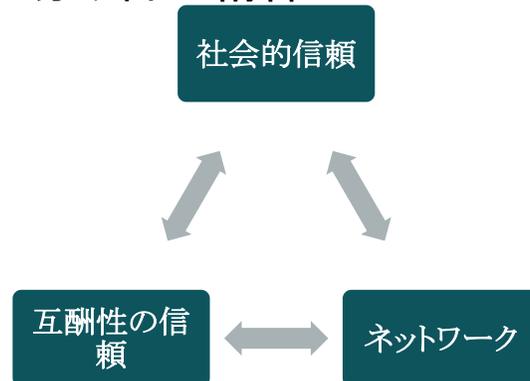
・ 里山資本主義

過度に金銭に拠らず、自然の恵み
と人々のつながりによる経済・生
活の充実を志向



・ Social Capital (社会関係資本)

地方の人々の関係性
地域愛・助け合い精神



【現状】

- ・ 地域外の人間が、祭り等 地域行事に参加することへの嫌悪感は少ない
- ・ エコツーリズムという観光の在り方も存在
- ・ 真庭市はバイオマス発電だけで電力自給率100%

【課題】

- ・ 地元産業・観光・バイオマス発電運営等、その担い手となる新たな住民の募集・確保が難しい
- ・ 産業・観光イベント等の発信力の低さ

【現状】

- ・ 災害時の助け合いが自然発生する
- ・ 相互の見守りによる孤独死への対策
- ・ Social Capital形成の地域活動に参入する企業あり

【課題】

- ・ 何をSocial Capitalと定義して活動するのか、その定義と活動が多岐に亘り、統一性・統合性がない
- ・ 地域内の人間関係によって、地位の固定・格差の助長が生じる可能性もある
- ・ 村八分（仲間外れ）を生む可能性がある



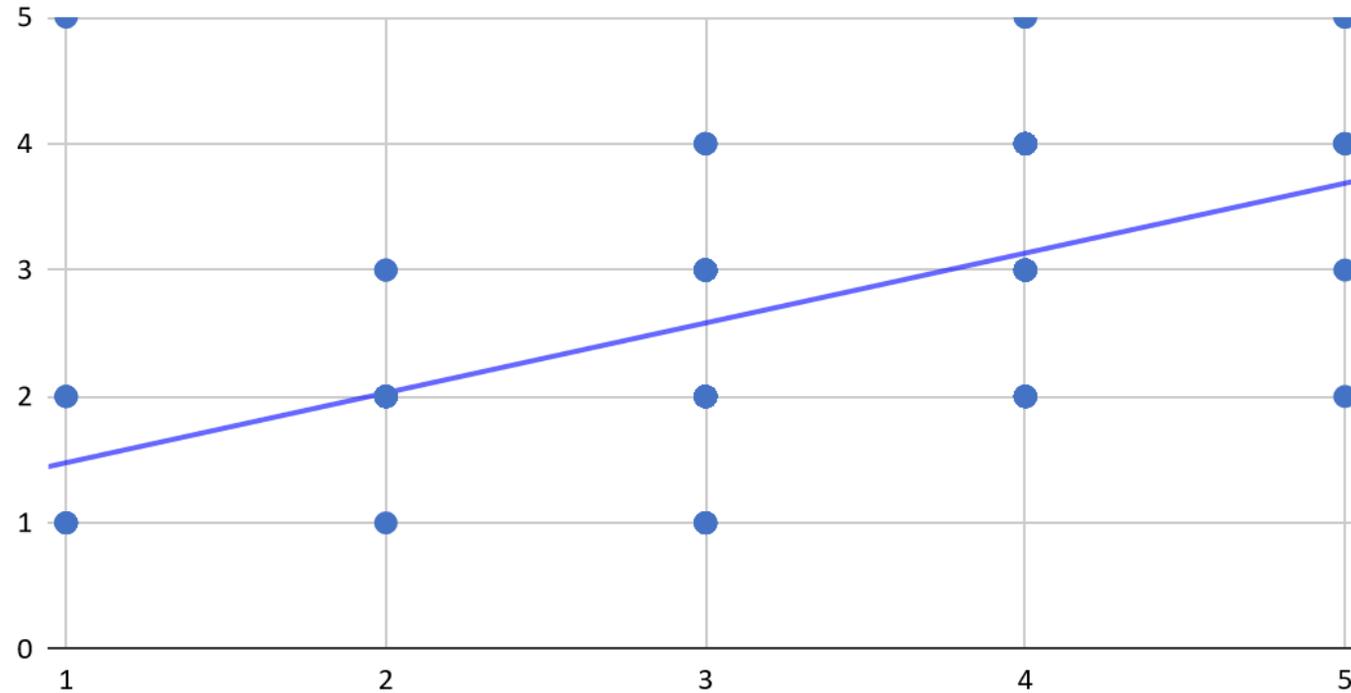
多摩地域における高齢者の意向調査①（各種活性化策への意見）

調査対象者：多摩大学の特別講座を受講者の内、多摩地域在住の136名
平均年齢＝72歳 男女比68：5

里山資本主義の希望と実現性の散布

● 里山2. — 「里山2.」のトレンドライン

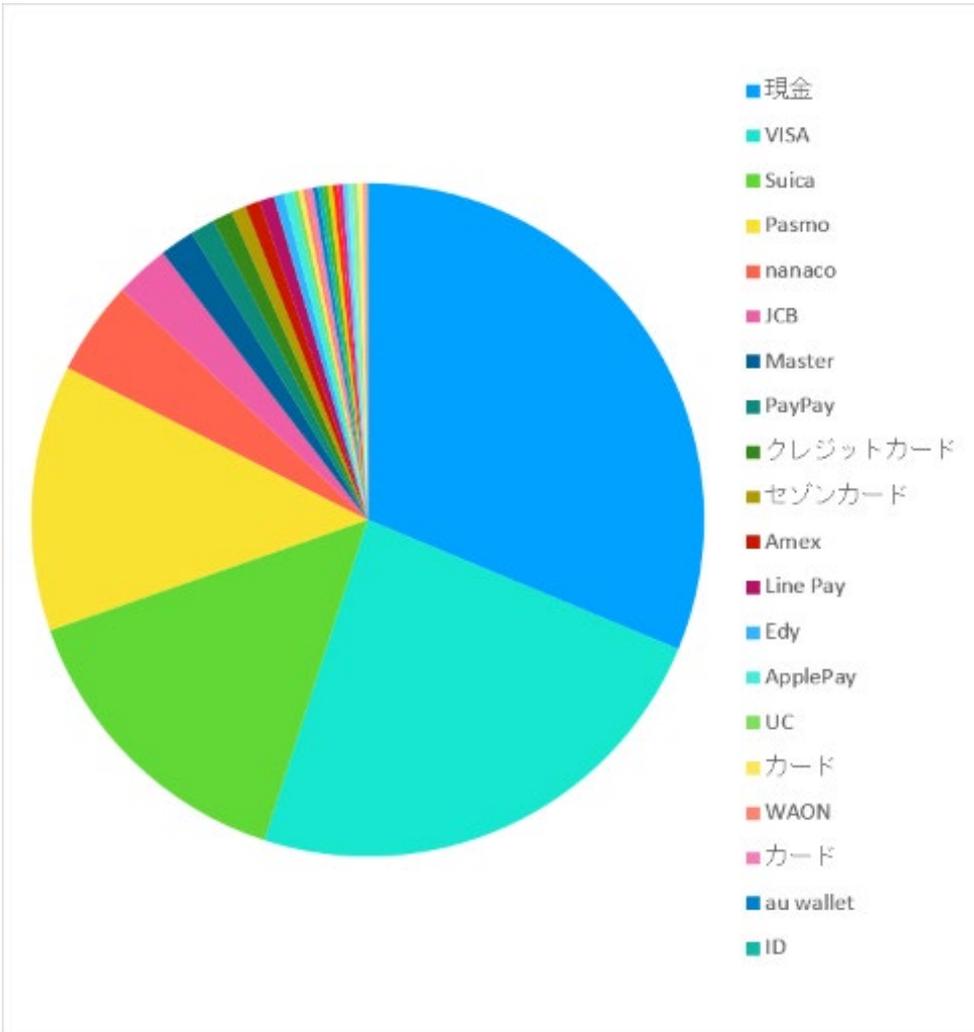
里山資本主義の活性化を希望するかどうか



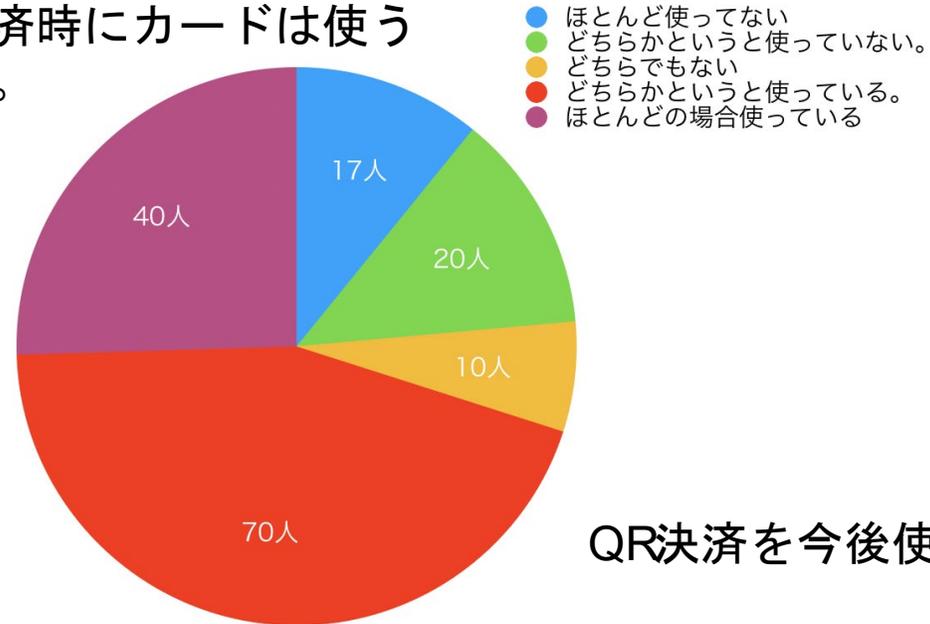
里山資本主義が実現するかどうか

多摩地域における高齢者の意向調査②（各種活性化策への意見）

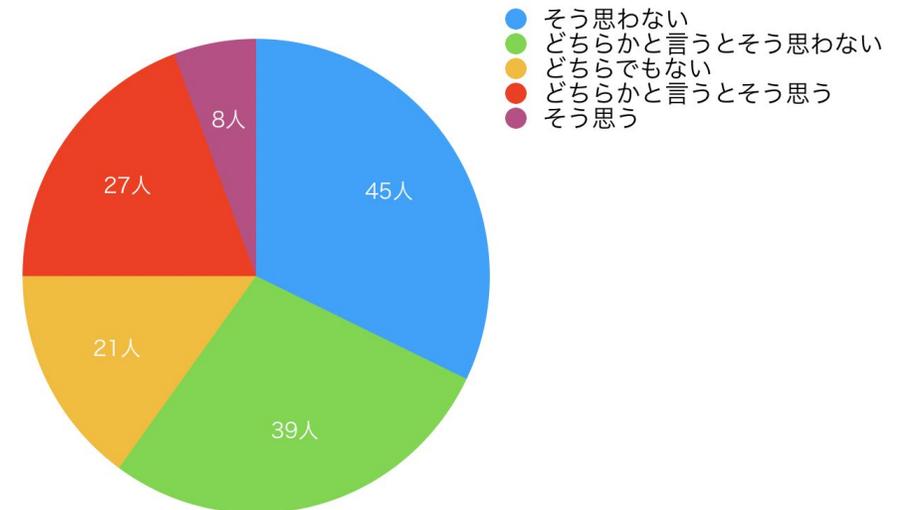
よく使う決済方法は。



決済時にカードは使うか。



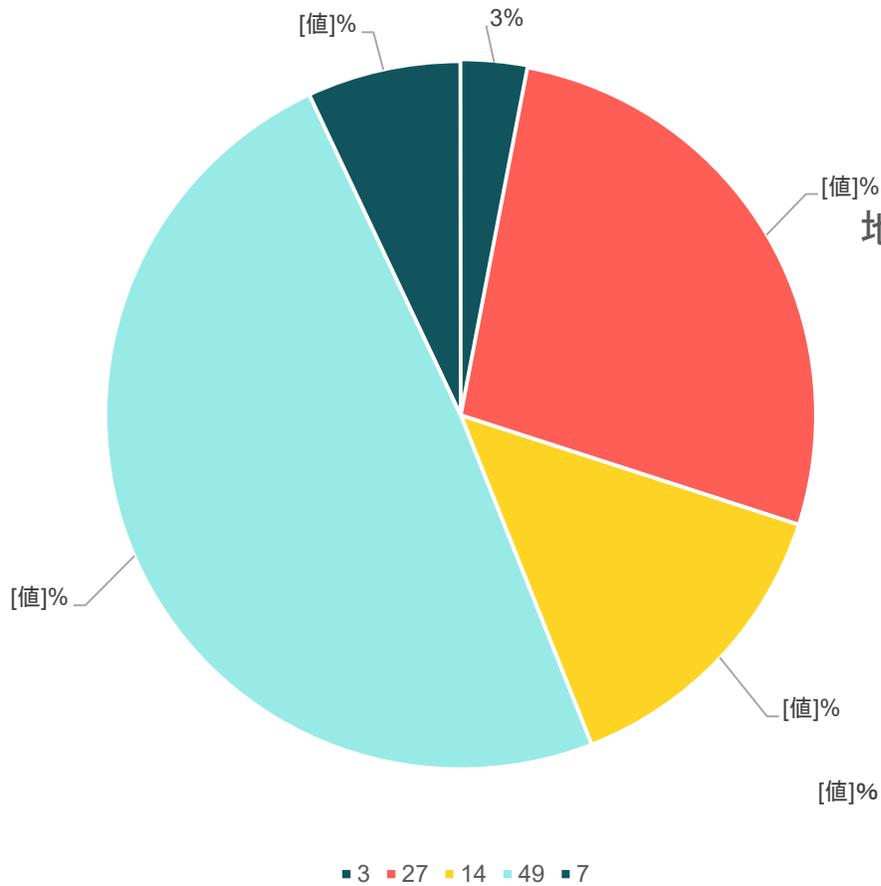
QR決済を今後使いたいと思うか。



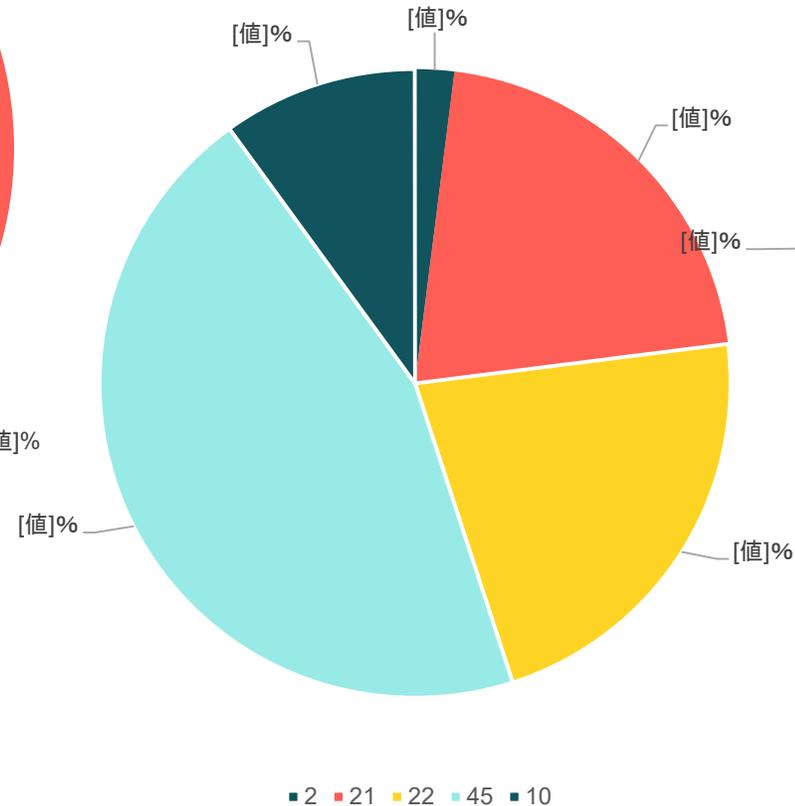


多摩地域における高齢者の意向調査③（各種活性化策への意見）

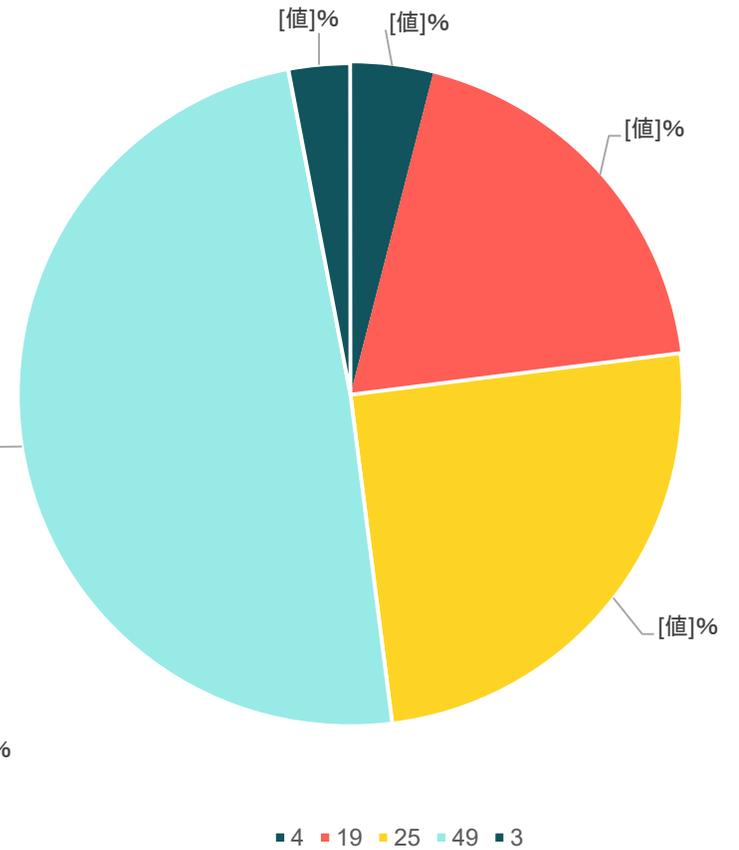
近所づきあいの割合



地域団体・地域活動は盛んだと感じるか



あなたは、お住いの地域の自主防災活動が盛んだと感じますか





多摩地域における高齢者の意向調査②（今後の地域活性への考え）

調査対象者の意見

（※71名の定性データからテキスト・マイニングにより抽出）

- ・ 地域活性の為に、「**コミュニケーション**」が大切と考えている。
- ・ 特に子供と高齢者が一緒にできる活動への参加など、**“世代を跨ぐ” コミュニケーション**が大切と考え、例えば、**防災に関する活動で交流**することなども複数要望が挙がっていた。
- ・ 同じ地域の住宅に住むならば、**住民意識をはぐくむ必要**があり、**そのための教育**も求められるという意見あり。
- ・ そして、**住宅開発とのバランス**を取って、**農業を行うためのエリア確保**なども必要と考えている。



結論、残された課題

結論

- ・大きく、**進歩的／人間回帰的**という2種類のカテゴリーの活性化策に分けた。
- ・**進歩的地域活性化策**は、高度技術の実証・導入が進むも、システムの信頼性・安全性に対する懐疑、情報セキュリティに対する不信感なども見られた。
- ・**人間回帰的地域活性化策**は、既存の自然・文化・コミュニティを大切にすることも、新たな住民の獲得や、濃密な人間関係がもたらす負の部分の解消等に課題も見られた。
- ・**多摩地域高齢者**は、コミュニティ活動・高齢者雇用等の必要性を理解するも、実践の意欲は少し下がることから、いかに実践へのモチベーションとサポートを図るかがカギである。

残された課題

- ・ **社会実践**のための具体的施策の構築
- ・ **多摩地域の若者**にもフォーカスした調査
- 他



参考文献等

・ウェブサイト

タイトル	URL	閲覧日
真庭市公式HP	www.city.maniwa.lg.jp/webapps/www/index.jsp	7月26日
国土交通省『スマートシティの実現に向けて【中間とりまとめ】』	https://www.mlit.go.jp/report/press/toshi07_hh_000126.html	7月26日
「お金にとらわれない成長を創る」～里山資本主義・藻谷浩介氏	https://business.nikkeibp.co.jp/atclcmp/15/071700001/011300006/	7月26日
新潟 日本政府観光局(JNTO)コンベンションの誘致・開催支援	https://mice.jnto.go.jp/organizer-support/city-search/detail.html?id=20	7月26日
Fujisawa SST	https://fujisawasst.com/JP/	7月26日
人口減少が地方のまち・生活に与える影響	http://www.mlit.go.jp/hakusyo/mlit/h26/hakusho/h27/html/n1122000.html	7月26日
2020年以降に重要となる都市問題について	https://futurecity.tokyo/life/kitami/	7月26日
【PDF】内閣府 スマートシティの構築を通じたSociety 5.0の実現	https://www.kantei.go.jp/jp/singi/tiiki/kokusentoc/supercity/dai2/shiryou1.pdf	7月26日
【PDF】総務省 情報流通行政局 情報通信政策課 総務省におけるスマートシティの展開について	https://www.kantei.go.jp/jp/singi/tiiki/kokusentoc/supercity/dai2/shiryou2.pdf	7月26日
【PDF】内閣府府省連携によるスマートシティの推進	https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/special/reform/wg6/190418/pdf/shiryou3-2.pdf	7月26日
【PDF】横浜市HP 横浜スマートシティプロジェクト（YSCP）とは	https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/ondanka/etc/yscp/yscp01.html	7月26日
TELESCOPE magazineスマートシティプロジェクトでは3レイヤーを同時に回す	https://www.tel.co.jp/museum/magazine/environment/120401_topics_03/02.html	7月26日
【PDF】総務省 地域への新しい入り口『関係人口』ポータルサイト	http://www.soumu.go.jp/kankeijinkou/	7月26日
Fujisawa SST PHOTO GALLERY	https://fujisawasst.com/JP/photo/	
UPR LOGISTICS IoT SOLUTION IoTの導入・活用事例	https://www.upr-net.co.jp/iot/casestudy/	
IoT NEWS スマートシティ	https://iotnews.jp/smart-city	



参考文献等

・書籍

著者名	発行年	タイトル (サブタイトル)	出版社
山藤泰	2011年	スマートグリッドの基本と仕組み第2版	秀和システム
藻谷浩介	2015年	里山資本主義	角川書店
諸富徹	2018年	人口減少時代の都市 - 成熟型のまちづくりへ	中央公論新社
椎橋章夫	2013年	ペンギンが空を飛んだ日	交通新聞社
岩田昭男	2017年	Suicaが世界を制覇する	朝日新聞出版
		スマートシティ5.0	
川上光彦・浦山益郎・飯田直彦 他	2010年	人口減少時代における土地利用計画	学芸出版社
望月洋介	2012年	スマートシティ・ビジネス入門ー4000兆円市場への挑戦ー	日経BPコンサルティング
森村 克弘・大野 裕司・山本正行	2014年	世界のペイメントカード	カード・ウェーブ
経済産業省 商務流通保安グループ 商取引・消費経済政策課	2016年	キャッシュレスで「消費」と「地方」を元気にする。	金融財政事業研究会

・論文

著者名	発行年	タイトル (サブタイトル)	出版社
村松繁・竹之内剛・中島大地 他	2018	「ソーシャルキャピタルから紐解く持続可能な地域社会～幸せな地域社会をつくるためには～」	多摩大学インターゼミ地域班
平松 裕子、伊藤篤	2015	日光の観光客の意識調査に基づく ICT による旅行支援の可能性に関する考察	中央大学経済研究所年